

しあわせ

No. 154

平成23 (2011) 年
1月27日



福知山市社協

発行/社会福祉法人 福知山市社会福祉協議会
福知山市字内記10-18 (福知山市総合福祉会館内)
TEL.23-3573 FAX.24-5282



さあえあい 共に幸せを生きるために

あなたが主役 みんなで育む 社協の事業④

ひとりでできること、できないことも先生や介助者と話しなが、熱心におこなわれた陶芸教室の絵付け作業 (12/15撮影)

「障がい者のつどい」

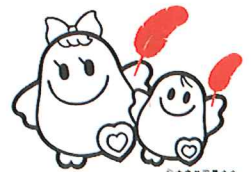
どんな事業?

視覚・聴覚・身体に障がいがある方の社会参加のきっかけとなるよう、昭和56年から実施しています。本年度は、昨年8月に視覚・聴覚障がいの方がぶどう狩りに、昨年12月に肢体障がいの方が陶芸教室に参加されました。(P.8に関連記事)

参加された方の声

「思い切って初めて参加しました。わたしにとって難しい絵付けの作業もありましたが、来てよかったです。」

愛ちゃん と 希望くん



本誌は、共同募金の配分金によって作られています

社協ホームページ

福知山市社会福祉協議会

検索

見てください!!

新年ごあいさつ

社会福祉法人
福知山市社会福祉協議会
会長 浅尾 勝次



**役員および評議員
交替のお知らせ**
(敬称略)

12月21日および24日開催の理事会・評議員会において、理事・評議員の所属団体区分による選出人数の改正および選出団体での交替がありましたのでお知らせします。

新任

副会長(理事)

松山 澄子(学識経験者)

理事

大野 森志(民生児童委員連盟会長)

監事

田中 孝夫(民生児童委員連盟)

評議員

山下 裕(再任)

中井田ふみ子 河谷美智子

桐村 正昭 吉田 定子

芦田 文司 瀬川 成郷

細見 孝一(再任)

的場 正徹 村上 清

(民生児童委員)

定数16名から10名に変更)

山岡 義信(自治会長運営委員)

香月 芳雄(高齢者代表)

細谷 勝(障がい者代表)

楠戸 良弘

(民間社会福祉施設連絡協議会代表)

志賀 光朗

(長田野工業センター及び企業代表)

山路 禮子(精神障害者家族会代表)

田辺 玖美子(女性代表)

新年明けましておめでとうございます。みなさまには、ご家族お揃いで清々しい新春をお迎えのことと心より喜び申し上げます。昨年、百年来の猛暑日が続く、農作物や生活環境に大きな影響がありました。皆様には、その厳しい夏を乗り越え、元気に新年を迎えになり心より喜び申し上げます。

特にこの地方では、年々鹿や猪

など野生動物の被害が増加し、民家近くに熊が出没するなど心配な状況となっております。一方、福知山市動物園では、猪の子どもの「ウリ坊」と子猿の「みわ」が仲良くふれあう姿が人気となり、テレビでも全国放映されるなど、心温まるニュースもありました。しかし、人間社会では、高齢者の

所在不明や児童の虐待事件が報じられ、「無縁社会」という言葉が生まれました。親子の絆、家族の絆、そして社会の絆の弱まりが将来に對する不安材料として大きく浮かび上がった一年でもありました。新年を迎えても、政治経済共に先行き不透明な状況が続いております。今年こそは将来に希望が持てる明るい年となることを期待してやみません。

の恩、多くの人の恩に守られて生きています。その恩に気づくことで始めて感謝の気持ちが生まれます。感謝の気持ちが生まれて初めて喜びの心が湧いてまいります。そして、喜びの心、勇み心に活力が生まれます。恩などと言えば、昔の言葉と考への方もあると思いますが、恩という字は原因の因の下に心と書きます。今、自分が生きていく、生かされている事には必ず原因があります。即ち、「恩」とは元を知る心であり、元を忘れない心であります。

私たちが、福祉の原点を忘れず、地域の新しい絆づくりに努めてまいりますので、変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

社協の紹介と、今年の抱負

私たち職員は、「このまちに住んでよかった」といわれる福祉のまちづくりに向けて基本的人権を基調に、市民のみなさまから信頼され、頼られる社協を目指して、笑顔を持って心を込め、福祉の専門職としてこれからも取り組んでまいります。

各担当部署の紹介と合わせて、今年に込める思いを漢字一文字で表現しました。今年もご支援、ご指導よろしくお願い致します。

福祉サービス 利用援助事業担当(本所)

一文字に込める
今年の抱負
貫

権利擁護とは、自己決定や自己管理の保障であり、基本的人権を守ることにはかならないと思えます。多くの方々の関わりの中で、そのことを事業の基本として貫く姿勢と真心を一人ひとりが持ち、そして物事には積極的に取り組んでいくことを本年度の抱負とします。

◆福祉サービス利用援助事業の紹介

高齢や障がいがある原因で、福祉サービスの利用をしたいけれど、判断能力が十分でない方や、お金の管理や引き出しができないなど日常生活に不安のある方を援助するものです。権利擁護事業ともいいます。サービスのご利用・ご相談は左記までお問い合わせください。

おもな業務と体制

- 業務 全国で取組まれている福祉サービス利用援助事業を、研修を受けて社協に登録して活動する生活支援員さんとともに市内で推進しています。
- 体制 28名
 - *内訳 正職員 2名
 - 嘱託職員 1名
 - 生活支援員 25名
- 問い合わせ先
 - TEL. 23-3573
 - FAX. 24-5282

ふれあいチーム(本所)

一文字に込める
今年の抱負
信

信(まこと)とは、あざむかず、偽らず、動じず、信頼する心を持つことです。私たちは、地域福祉のために、信念を持って何事にも取り組みます。

◆地域福祉活動の取組みとは

- 地域の課題に地域で取組まれる活動の応援
- ひとり暮らしや心身の障がいなどによる社会的孤立の防止や、不安を減らすための事業
- 各種ボランティア活動の調整と活性化
- その他、市内を中心とする福祉活動への支援

おもな業務と体制

- 業務 法人運営に関わる「総務係」と、市内全域の地域福祉活動をおこなう「ふれあい推進係」で社協活動をすすめています。(P.8参照)
- 体制 12名
 - *内訳 正職員 7名
 - 嘱託職員 1名
 - 臨時職員 4名
- 問い合わせ先
 - TEL. 23-3573
 - FAX. 24-5282

※体制は平成23年1月現在。

社協の紹介と、今年の抱負 (続き)

おもな業務と体制

- 業務

夜久野地域の福祉活動をきめ細かく進めるため、介護サービスや独自事業の実施、福祉センターや多目的広場の貸出・管理などをおこなっています。
- 体制 19名
 - *内訳 正職員 3名
 - 嘱託職員 2名
 - 臨時職員 3名
 - 非常勤職員 11名
- 問い合わせ先

福知山市夜久野町平野1030
(ふれあいの里福祉センター内)
TEL. 38-9000
FAX. 38-9012

人間には理性・知識・感情・意志などのもことになる心があり、その心で人を思いやり、感謝もできます。
また、心を心(しん)と読みかえ、物事の真ん中にある重要な働きをするという意味では、心(こころ)を込めて仕事をやる姿勢こそが大切だと思います。
社協の職員として責任感を持ち、誰からも信頼される事業所を目指します。

一文字に込める
今年の抱負

こころ
心

夜久野支所

◆夜久野支所の活動紹介 地域の取り組みを支援 ～高齢者見守り隊研修～

11月16日(火)、下夜久野地区で高齢者の安否確認を兼ねて開催されているサロンを対象に、活動を充実させるための研修を実施しました。



レクリエーションの研修中

おもな業務と体制

- 業務

みなさまの“すこやか”な毎日を支えるため、介護サービスの提供や、介護支援サポーター事業(市受託事業)をおこなっています。
- 体制 48名
 - *内訳 正職員 14名
 - 嘱託職員 7名
 - 臨時職員 3名
 - 非常勤職員 24名
- 問い合わせ先

TEL. 23-1333
FAX. 23-8555

居宅介護支援事業所、訪問介護事業所、訪問入浴事業所が一つのチームとして相互に手を携えて輪(和)となり、利用者様への和(なごみ)の提供に努めます。
困難があってもハードルを一步一步跳び越えて、利用者様の喜びと介護専門職としての仕事のやりがいを感じられる職場となるよう取り組みます。

一文字に込める
今年の抱負

わ・なごみ
和

すこやかチーム(本所)

◆介護サービスの提供について

	本所	三和支所	大江支所	夜久野支所
居宅介護支援	○	○		
訪問介護	○	○	○	○
障害者自立支援	○	○	○	○
訪問入浴	○	○		
福祉用具貸与		○		
福祉用具購入		○		
通所介護		○		
介護保険外サービス	○	○	○	○
介護用品販売		○	○	

おもな業務と体制

- 業務

大江地域の福祉活動を充実させるため、介護サービスや大江アットホーム舟越の実施、舟越会館・工房の貸出・管理などをおこなっています。
- 体制 25名
 - *内訳 正職員 4名
 - 嘱託職員 1名
 - 臨時職員 1名
 - 非常勤職員 19名
- 問い合わせ先

福知山市大江町波美235
(老人福祉センター舟越会館内)
TEL. 56-0224
FAX. 56-1654

地域の方々にご不便をおかけしないよう、職員間の「報告・連絡・相談」を密にします。
それぞれの仕事の役割は違いますが、自分の仕事を振り返り、「昨日より今日、今日より明日」とより良い福祉活動を目指します。

一文字に込める
今年の抱負

すすむ
進

大江支所

◆大江支所の活動紹介 ひとり暮らし高齢者のつどい ～はつらつ会～

誰もが住み慣れた地域で元気に過ごせるよう、12月18日(土)、舟越会館で、大江地域のひとり暮らしをする75歳以上の方と、地域のボランティアさん、中学生で巻き寿司を作るなどして、132名が楽しく交流をしました。



ジャンボ巻き寿司の完成

おもな業務と体制

- 業務

三和地域の福祉活動の拠点の1つとして、さまざまな介護サービスをはじめ、外出支援サービスなどの事業を実施しています。
- 体制 29名
 - *内訳 正職員 14名
 - 嘱託職員 1名
 - 臨時職員 3名
 - 非常勤職員 11名
- 問い合わせ先

福知山市三和町千束375
(東部保健福祉センター内)
TEL. 58-3713
FAX. 58-3732

はずむ心で仕事ができるよう、明るい笑顔、活気あふれる職場を作り、地域の方に笑顔や元気になっていただけたら、ような支所の活動を目指します。

一文字に込める
今年の抱負

はずむ
弾

三和支所

◆三和支所の活動紹介 身体障がい者の交流会 ～みわのつどい～

10月27日(水)、東部保健福祉センターで、障がいのある方の社会参加のきっかけづくりをするため交流会を開催し、参加者30名でレクリエーションなどをして過ごしました。



活気に満ちたレクリエーション

※体制は平成23年1月現在。
非常勤職員数は直近1か月の活動人数。

共同募金へのご協力、ありがとうございました

【福知山市共同募金会からの報告】

12月31日現在の募金額

■赤い羽根共同募金
11,259,107円

■歳末たすけあい募金
4,723,600円



昨年10月1日から12月31日までの期間内に、地域のみなさま、そして自治会長様や、民生児童委員様に募金をお世話になりました。また、職場・学校・企業などからもたくさん募金が集められました。集められた募金は、本誌で報告しています。地域福祉の財源となります。たくさんの方の善意をありがとうございました。

募金箱設置協力店・施設の紹介

(順不同)



募金していただいた方はもちろん、運動を広げるための募金箱設置にご協力いただいた市内の各施設やお店のみなさま、本当にありがとうございました。

店 舗	福知山郵便局	
三ツ丸ストア(株) 三和店、前田店、堀店	京都北都信用金庫 福知山中央支店	にれの木園 三愛荘
	京都銀行福知山支店	サンヒルズ紫豊館
	近畿労働金庫 福知山支店	ニコニコハウス
西山寛商事(株) スーパーマーケットニシヤマ 荒河店、前田店	京都農業協同組合 福知山支店	六人部 晴風 五十鈴荘
	ジャスコ 福知山店	グリーンビラ夜久野
PLANT-3	京都丹の国農業協同組合 福知山支店	みわの里
フクヤ(株) 大江店	中兵庫信用金庫 福知山支店	豊ノ郷
福知山温泉	アピックス	福知山市役所 本庁、三和支所、 夜久野支所、大江支所
ホテルロイヤルヒル福知山	施設	福知山市立 図書館中央館
三和荘	岩戸ホーム	福知山市民病院
夜久野高原温泉		
夜久野高原市		

“たすけあい”で、地域と心が暖まりました

～歳末たすけあい
一般公募枠の結果報告～



広報誌「しあわせ」152号(平成22年10月発行)で公募しました、歳末たすけあい募金の配分に3団体よりご応募いただき、12月15日(水)の共同募金運営委員会(会長：松山市長)で、配分先が次のとおり決定しました。これからも、みなさまからの募金は、みなさまの福祉活動を応援していきます。

団体名	活動内容	対象事業
レクサロン「ゆうゆう」	介護予防を目的としたレクリエーション	クリスマス会
いきいき生活クラブ「トライアングル」	おもに若い障がい者の生活経験や人との交流を広げ、心豊かにする	新春そば打ち
まんてん	障がい児と親子の交流	冬季お楽しみ会

(順不同)

ありがとうございました 善意の寄付

平成22年
10月1日～12月31日
(敬称略・受付順)

【寄付金・物品他欄の - につきましては、寄付者のご意向に添って、住所・名前のみと致します】

こちらの内容については、個人情報
保護のため、ホームページへの掲載は
自粛させていただいております。

記事に関する事、その他お問い合わせは…

- ▶ 本所 (TEL.23-3573 / FAX.24-5282)
住所 福知山市字内記10番地の18
(福知山市総合福祉会館内)
- ▶ すこやかチーム (TEL.23-1333 / FAX.23-8555)



- ▶ 三和支所 (TEL.58-3713 / FAX.58-3732)
- ▶ 夜久野支所 (TEL.38-9000 / FAX.38-9012)
- ▶ 大江支所 (TEL.56-0224 / FAX.56-1654)

採用 10月1日付
森 千夏 すこやかチーム(同臨時職員より採用)

退職 11月1日付
土方 美恵 三和支所(同臨時職員より採用)

退職 12月22日付
松山 澄子 すこやかチーム(アドバイザー)

人事異動のお知らせ

福知山市を、みんなが幸せを感じる魅力的なまちにしたいという願いをこめて、市民憲章が平成3年4月1日に制定されています。社協の活動も、これに基づいて推進しています。

「幸せを生きる」市民憲章に基づいて、社協活動は推進しています。

「幸せを生きる」

社協の活動は、このように進んでいます 平成22年度

「百聞より、一見より、1度の体験！」

地域の力で災害を乗り越えよう ～災害ボランティア啓発イベント～

10月31日(日)、東部保健福祉センターで、災害ボランティアや防災活動を推進するイベントを三和地域の方々と協働で開催しました。

災害復旧をすすめるボランティア活動を調整するためのセンター立ち上げ訓練をはじめ、身近にあるものでできる応急救護の講座、薪を使った炊飯、平成16年の台風23号の記録や防災グッズの展示などをおこない、約150名が参加しました。

参加された方の声

「新聞紙やダンボールでも、緊急時には骨折したときの副木に使えることなど、驚きがたくさんありました。」



鴨野町の「レスキューかもめ」さんの指導により、参加者全員が交代で体験した応急救護

「思い切って参加してよかったです」

支え合えば、障がいも個性の1つに ～肢体障がい者のつどい～

障がいのある方の社会参加のきっかけとするため、12月15日(水)、総合福祉会館で、肢体障がい者のつどいを開催しました。

介助する方を含み、全部で19名の参加があり、まず福知山市動物園の園長さんによる、動物と命について講演を聞き、その後陶芸の体験をしました。

陶芸作品は、総合福祉会館のロビーで陶芸作品展もおこないました。(1月いっぱい)

参加された方の声

「来年も、元気だったら参加したいです。」



動物園での写真も交えた講演

「子どもの笑顔も見られて嬉しかった」

もっと子育てをサポートするために ～ファミサポ全体交流会～

10月20日(水)、総合福祉会館でファミリー・サポート・センターの会員交流会を開催しました。

手遊びや紙芝居、自由な談話時間などで、親子や会員の25名で交流していただきました。

参加された方の声

「会員の方から預かりの様子を聴けてよかった。」



人形劇サークル「ぐるんぱ」さんによる紙芝居